

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	キッズいちえ		
○保護者評価実施期間	2026年4月2日		～ 2026年 4月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	75 (回答者数)	56
○従業者評価実施期間	2026年4月2日		～ 2026年 4月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年5月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子供に合わせた丁寧な支援ができること	1対1の個別療育の中でお子様に合わせてスケジュールや課題の設定をしている。環境もお子様に合わせて設定しており、他児と同室である場合や、個室を使用する場合など、アセスメントした上で環境調整をしながら支援ができていく。	今後は、個別療育で得られた支援内容や関わり方を職員間で共有・検討する機会を増やし、事業所全体として支援の質の均一化と向上を図っていく。また、定期的なアセスメントの見直しや保護者からの意見も取り入れながら、よりお子様の特性や成長段階に応じた課題設定や環境調整ができるよう努めていく。
2	・こどもの状況を保護者と伝え合い、共通理解をもてること	・保護者同室での療育を行うことで、保護者も改まった相談だけでなく、日々の困り感をスタッフに伝えやすい環境になっている。また、連絡ツールを使用した保護者連携や相談の申し込みには速やかに対応する等、本人支援だけでなく保護者支援にも力を入れている	今後は、保護者同室での療育や日常的な情報共有を引き続き大切にしながら、相談内容や支援の変化を職員間でも整理・共有し、より一貫した支援につなげていく。また、支援方針やお子様様の成長について共通理解を深め、家庭と事業所が同じ方向性で関われるよう保護者支援の充実を図っていく。
3	・こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援を提供できること	TEACCHやPECS等、科学的に実証された支援を勉強した専門職（公認心理士・作業療法士・精神保健福祉士）が支援を行っている	子どもたちの特性への理解を深め、スタッフ間での連携を高めることで、より支援の質を高めることができるよう取り組みます

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団での活動が少ないこと	本事業所は複数人での集団活動を設定することが難しい状況がある。また、利用児の特性や発達段階に配慮すると、集団活動への参加が負担となる場合もあり、個別での関わりを優先していることが集団活動の機会の少なさに繋がっている。	個別療育の強みを活かしつつ、夏季・冬期等のイベントの中で、無理のない範囲で集団での活動を引き続き取り入れていく。また、小集団での関わりや、他児と同室での活動など、段階的に集団的要素を取り入れる工夫を行い、児童の特性や状況に応じた社会性を育む機会の充実を図っていく。
2	非常時等の対応の周知	掲示板に掲示をしたり、契約時にはお伝えしているが、個別療育の時間の中で非常時等の対応についての話をする機会を持つことができていない	避難訓練等を実施した報告を連絡アプリで周知をしたり、分かりやすく掲示する等、保護者の方に周知してもらえるようにする
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後等デイサービス）

事業所名 キッズいちえ

公表日 2026年5月2日

利用児童数

75

回収数

56

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	49	0	6	1		・お子様に合わせて環境の調整をさせていただきます。また、分かりやすく構造化した上で過ごしやすい環境になるように今後も考えて行きたいと思えます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	51	0	3	2		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	53	1	1	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	53	0	2	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	53	0	2	1	・担当者によると思う	・職員を中心に特性を理解した支援を行っておりますが、今後は職員間での情報共有や支援方法の統一をさらに意識し、どの職員が対応しても、より専門性のある支援が提供できるよう努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	51	0	3	2		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	50	1	3	1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	51	0	3	2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	54	0	2	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	48	1	6	1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	11	20	3	22	・そもそもその点は求めてません ・機会はないですが問題はありません ・イベントの企画は少ないと思う ・あると思いますが、参加した事がないので。	・個別のニーズに基づいた専門療育を行っているのですが、現在、予定はございません。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	53	1	1	1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	53	0	2	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	48	1	1	6	・予定が合わず参加できない ・あると思いますが、参加できていません。	・保護者交流会とともに研修会を実施し、ご家族に対する支援を行っております
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	53	0	2	1		・療育時間の中で日頃の状況をできるだけ共有し、共通理解に努めています。連絡ツールを利用し保護者の方から日々の気になる事柄について連絡ができるように体制を整えております
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	54	1	0	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	53	1	1	1		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	29	1	6	20		・昨年度は保護者会を開催し、保護者同士の交流の機会を提供させていただきました。今年度も開催予定です	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	43	1	4	9		・療育時間以外で相談時間を設けることができることを契約の際にお伝えさせていただいております。相談申し入れがあった場合は速やかに対応しております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	54	1	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	34	2	5	14		季節ごとに会報を発行しており、必要に応じてHPなどで発信しています。また、InstagramやSNSを活用し、情報を発信しています
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	53	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	31	3	2	20		契約の際にお伝えし、閲覧できるようにしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	4	0	35		年に2回、定期的に避難訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	38	2	2	14		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28	4	1	23	・聞いたことがない ・事故、怪我はない。	事故発生時の対応マニュアルを作成し、事故等があった場合には速やかに連絡、対応が出来るようにしております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	55	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	43	2	8	3	・難しいと感じる取り組みもあり行き渋る場合もある	発達段階や特性に配慮しながら、成功体験につながるよう支援内容を調整しております。今後も、お子さまが安心して通所できるよう、楽しさと必要な支援のバランスを大切にしたり取り組みを行ってまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	54	1	1	0		満足していただけるように、今後の支援内容の改善に活かしてまいります。

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名	キッズいちえ		公表日		2026年5月2日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		・年齢やお子様の様子に合わせて療育室の使用人数を調整している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		・規定に基づき配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		・構造化された環境の中で支援しております。 ・バリアフリー化はしていないが、療育を実施する場合は分かりやすく設定している	大きな段差や階段はないが、バリアフリーでないところがあります。必要に応じて個別の対応を行います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		・年齢や特性に応じて対応ができています	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	2		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		保護者向け評価表への回答をHPだけでなく事業所内にも掲示している。 スタッフ内で内容を把握し、業務改善に努めている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4		計画的に実施出来るように検討します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・事業所内・法人内で定期的に研修を実施しスタッフの資質向上の為の機会を設けている ・毎月1回の法人内研修に加え、外部での研修会に参加しています	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		HPに支援プログラムを公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	2		個別支援計画については、担当職員を中心に内容を把握し、計画に沿った支援を行っている。また、必要な配慮事項や支援のポイントについては、職員間で情報を共有している
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		・標準化されたS-M社会生活能力検査・Vineland-II 適応行動尺度を使用している。 ・聞き取りアセスメントを行い、インフォーマルアセスメントは随時行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		・地域支援・地域連携に関しては支援が手薄になっていることがある	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・情報を共有し合い、様々なプログラムを行っている。 ・季節に合わせた活動なども取り入れている	子供の様子を日々アセスメントしながら、課題や環境調整も含めてステップアップしながら取り組んでいます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	2		個別療育をメインで行っている為、適宜組み合わせことは難しいが、イベント等を通して集団活動を取り入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			・毎朝、朝礼で打ち合わせし話し合いを行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1		スタッフ間で話し合う機会を持ち、担当スタッフ以外の意見も反映させながら療育に取り組んでいます	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8				
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			規定に基づきモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っています	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8				
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	8					
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8				
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8				
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1		・直接・間接的な方法両方で必要に応じて情報共有している ・送迎は行っていないが、必要に応じて学校との情報共有を行っている	送迎を行っていない為、日々の情報共有や連絡調整は行っていません。学校との連携については必要に応じて対応しております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1		・保護者を通して主に行っている ・保護者からの要望があればカンファレンスへの参加や児童所見等の提供を行っております	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	2		・関係機関と連携を取っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8			・頻繁に連携は取れていないが、SVや研修が法人や事業所で行っている	児童発達支援センターでの研修に参加する等、職員の専門性の向上の為の機会を設けています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	6			保護視野からのニーズがない為、機会をもっていません。必要に応じて対応します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	4			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			・保護者同室で療育を行うため、保護者と子どもの状況について話ができている ・連絡ツールを使用し、保護者と常に共有理解が持てるよう対応している	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8			・家族が参加できる研修会を開催している		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8				
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8				

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	8			・毎年、保護者交流会を開催している	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			季節ごとに会報を発行しており、必要に応じてHPなどで発信している。また、InstagramやSNSを活用している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8				
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4			保護視野からのニーズがない為、機会をもっていません。必要に応じて対応します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8				
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8				
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			・フェイスシートの記入や聞き取りを行い、把握に努めている	必要な場合は保護者の方に十分に説明をしたうえで対応します。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	3		食べ物の取り扱いをしていない。アレルギーは聞き取りしている。	食事の提供を行っていません。支援の中で食べ物を使う場合は持参してもらっています
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8				
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8				
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8				ヒヤリハットを事業所内で共有し、対応が必要な事項に関しては話し合いを行っている
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8				・毎年、虐待を防止するため、職員の研修会を開催している
54	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的で開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	8				・他部署と共に虐待・身体拘束委員会を開催し、組織的考え、決定する機会を持っています	
55	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8				・他部署と共に虐待・身体拘束委員会を開催し、組織的考え、決定する機会を持っています	